

## しり切れトンボの作り方と注意点

黒実線で正確に切出します。主翼中央前部は切り込みが入ります。

谷折線（赤） 山折線（緑）は全て、書けないボールペン等でけがきを入れます。

準備が出来たら、次の手順でまとめて行きます。

- 1 垂直尾翼 2 個の山折線を折って、折ぐせをつけたら広げます。
- 2 主翼端に垂直尾翼を合わせ（ホッチキスマークと折り線を基準に）主翼と尾翼にまたがるホッチキスを打ちます。完了したら、縦のホッチキスを打つ、もう一端も同様に止めます。（まだ、垂直尾翼は折らないで置きます）
- 3 ゲージを使って、主翼前縁にキャンパーを折ります、左右とも充分ゲージに合わせて下さい。
- 4 主翼後端の「ひねり上げ」をゲージを使って谷折線で折り上げます。
- 5 上反角ゲージに合わせて、およその上反角を付けます。
- 6 胴体は、左、右とも巻き込み折で折り上げ、左右を合わせてホッチキスで止めます。この時、主翼取付面を充分合わせて止めてください。
- 7 主翼取付面に、ゲージ合わせで上反角を決めて下さい、主翼を取り付けてから上反角を付けるのは、ひずみを出しやすいので、およそ合わせて置いてホッチキスします。
- 8 主翼を取り付け面に合わせて、ホッチキスマークにホッチキスを打ちます。
- 9 全てのホッチキスを先長プライヤーなどで潰します。
- 10 垂直尾翼を 90 度に折り下げます。
- 11 ニッパー、カッターなどでカタパルトフックを切り込みます。
- 12 これで完成です、充分にゲージ合わせしてあれば、ほどほどの滑空をするはずですが更に「ひねり上げ」を調整して、良い滑空をする様に合わせます。  
カタパルト発射の場合は、手投げ試験で少し突込み加減の調整が良いでしょう。